

# 第2回 双葉町復興まちづくり委員会

## ふるさと再建部会 議事録

■日時 : 平成24年11月26日(月) 部会 午後1時00分～午後2時45分  
委員会 午後3時00分～午後4時30分

■場所 : 双葉町役場埼玉支所 4階 4-B

■出席者 : ふるさと再建部会委員  
事務局(双葉町企画課)

(参照: 第2回ふるさと再建部会座席表)

### 1. 開会

#### 【木幡 敏郎 副部会長】

副部会長を務めております木幡と申します。本日は皆様方には何かといろいろご多用のところ、この双葉町復興まちづくり委員会ふるさと再建部会にご出席いただきましてありがとうございます。本日は清水部会長が所用のため欠席しておりますので、清水部会長に替わりまして進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。なお、この委員会は、まず結論というよりはまず皆様方のいろいろなご意見をまずお聞かせいただきたい。そのような皆様の思いを発言する場ですので、どうぞ皆様の忌憚のないご意見をよろしくお願い申し上げます。

### 2. 議事

#### (1) 津波被災地域の復旧・復興について(審議)

#### 【木幡 敏郎 副部会長】

それでは進めさせていただきます。本日の議事といたしましては、1つは「津波被災地域の復旧・復興について」というテーマでありますので、後程オブザーバーとして、菅本区長、それから齊藤区長にもお出でをいただきまして、いろいろとテーマの当事者というような立場からいろいろな思いがあるのかなというふうに思って、いろいろなお話を聞かせていただきたいと思えます。その前に今回の復旧復興についての事務局から資料の説明ということで、まずそれからよろしく願いいたします。

#### 【事務局 平岩 邦弘】

企画課の平岩と申します。本日お配りしている資料の説明を簡単にさせていただきたいと思えます。

まず、ふるさと再建部会の資料2をご覧いただきたいと思えます。資料2については、「津波被災地域の復旧・復興について」ということで、今日の部会の議論となるべき論点、こちらを整理したものであります。去る10月16日、第3回目の復興まちづくり委員会において、今後の審議の進め方ということで津波被災地域の土地利用をどのように考えるか、というテーマを審議していただきました。それを踏まえまして、今日の部会での津波被災地域の復興についての議論と

37 いうことをご理解をいただければと思います。

38 今日論点といたしまして、2つほど事務局で検討をさせていただいております。1つは双葉  
39 町へ帰還可能となる場合には、長期間が想定させる中で、津波によって被災した地域について、  
40 空間放射線量が他の地域よりも低いことを考慮して、町全域での、どのような位置づけ、役割を  
41 担っていかなければいけないのか。つまり津波被災地域の町全域における位置づけ、これをどの  
42 ように考えていくかということをも1の論点とさせていただきたいと思っております。また、津波によ  
43 って破壊されたインフラ等の当面の復旧。例えば道路などの復旧、土地などの取扱についてどのよ  
44 うに考えるか、などがテーマになろうかと思っております。この資料としては、後程説明しますけれど  
45 も資料3において、その資料で説明をさせていただきたいと思っております。

46 2つ目の論点といたしまして、双葉町への帰還が仮に可能となった際に津波被災地域をどのよ  
47 うに復興していくか、ということをもテーマにご議論いただければと思います。2番目の論点につ  
48 きましては、後程資料4、資料5の方で説明をさせていただきたいと思っております。

49 では資料3をご覧くださいと思っております。資料3につきましては双葉町津波浸水地域のマッ  
50 プを掲載しております。これについては国土地理院のホームページの方に震災範囲概念図という  
51 のがありまして、この資料を基に、事務局で一部加筆したものでございますが、双葉町におい  
52 ては浜野地区、両竹地区、郡山地区ということで大きく3つの地域が今回の東日本大震災の津波に  
53 よって、被災をしております。国土地理院のまとめたデータによりますと、双葉町での津波浸水  
54 の面積は3k㎡、双葉町の面積が全体で51.40k㎡ですので、町全域の約5.8%が今回の津波で浸  
55 水の被害を受けたというふうな大変甚大な被害を受けたところでもあります。特に津波被害の世帯  
56 数としては浜野地区が50世帯中全ての50世帯、両竹世帯については27世帯中の全ての27世  
57 帯、郡山地区におきましては131世帯中の4世帯で、建物の流失、全壊半壊等の変大大きな被害  
58 を受けたところでもあります。このように東側の沿岸部の方でかなり大きな津波・塩害があった訳  
59 ですが、一方で空間線量については非常に低いというような状況がありますので、その辺も踏ま  
60 えたご議論をお願いできればと考えております。

61 次に資料4でございますが、東日本大震災の津波被災地域の復興の考え方ということの資料で  
62 ございます。この資料につきましては今年4月国土交通省都市局の方で津波防災被災市街地復興  
63 手法検討調査ということで津波被害を受けた自治体の復興手法を、復興パターンについて取りま  
64 とめた資料になっています。被災した市町村が策定した復興計画をみますと、その市街地等の復  
65 興パターンについて主に居住地に着目して分類してみると、大きく以下の5つのタイプに分ける  
66 ことができる、というふうなことになっています。

67 まず1つ目は移転ということでございます。今回の津波により浸水した区域の中で居住を認め  
68 ない区域を設定して、浸水区域外に住宅を移転する方法であります。イメージとしては、下のこ  
69 の図に書いてありますがAの移転というところをご覧くださいと思っておりますが、今説明しまし  
70 たとおり今回の津波被害のあった浸水地域については、居住に適さない区域あるいは移転しない  
71 区域ということで、国は居住をしないということで新たに移転先を探してそこに住宅等を移転す  
72 る方法であります。

73 2つ目としては、現地集約という方法があります。同じく今回の津波によって、浸水を受けた  
74 区域の中で海岸堤防や二重防波堤、これを整備することによって津波に対する安全性が高められ

75 た区域に居住地を集約する方法になります。下の絵の方を見ていただきますと、浸水区域の中で  
76 居住に適さない区域、それから二重防波堤等の設置により安全性が高まった地域、との2つに分  
77 けます。安全性が高まった地域について住宅を集約して建てるというような方法であります。こ  
78 れが現地集約型のパターンとなっております。

79 次に3つ目として嵩上げの形でありますけれども、これについては津波浸水区域の中の一部の  
80 区域を嵩上げてそこに居住地を集約する方法になります。Cのイメージ図をご覧くださいませ  
81 とBと同じようなタイプになっておりますが、Bと違うところは、安全性が高まった地域の宅地  
82 を盛土して嵩上げた区域を作ってそこに住宅を設置するというふうな形になっております。な  
83 おここには防波堤等の設置は無いような状態になっておりますが、住宅の嵩上げ等によって安全  
84 性を確保するというようなタイプになっております。

85 それから、4つ目として移転、嵩上げのタイプであります。これについては移転と嵩上げの  
86 組み合わせのタイプになります。住宅の区域外への移転と区域内での嵩上げ地域区域への集約を  
87 同時に集約する方法であります。下のイメージ図によると被害をうけた浸水区域については宅地  
88 を盛土して嵩上げた区域に住宅を集約する方法と一部それを別なところに移転する方法、これ  
89 を組み合わせたタイプになっております。

90 それから5つ目としては現地復興のタイプになりますが、これについては海岸堤防等の整備に  
91 より津波に対する安全性を確保した上で基本的に災害前と同じ地に住宅を再建する方法になり  
92 ます。これについては下のE図を見ていただくとわかりますように、海岸線沿いに防波堤等を設  
93 置する、ということで基本的には被災前と同じ地域に住宅を建てるというふうな形になっており  
94 ます。

95 国の方でまとめたこのタイプとしては以上5つの方法がありまして、この対象、この調査の対  
96 象としては32市町村ということで調査を行ってとりまとめたもので福島県としては新地町、相  
97 馬市、南相馬市、広野町、いわき市が対象となっております。以上が国土交通省の方でとりまと  
98 めた津波被災地域の復興の考え方についてであります。

99 次に資料5でございますが、これについては浪江町における被災地域の復興の考え方について  
100 記したものであります。浪江町においてはすでに復興計画が決定されておりますが、その中の復  
101 興計画の中から抜粋をさせていただいたものであります。浪江町における津波被災地における復  
102 興方針ということで、復興の在り方、これについては基本的に人命を最優先する、減災の考え方  
103 を取り入れる、逃げるを基本とする。それから生業の再生と土地の有効利用ということで、この  
104 3点をこの復興のあり方の基本としています。その為に先ずは安全ということで、安全の為の施  
105 策としてソフト事業とハード事業に分けて計画を立てております。ソフト事業の1つ目としては、  
106 防災教育、避難訓練などです。2つ目としては震災記録の保存・伝承、これらがソフト事業とし  
107 て載せられております。また、ハード事業としては、防災緑地の作成、それから道路の嵩上げ、  
108 堤防の嵩上げなどを行う。3つ目としては集団移転、避難道路等の整備等を行う、というような  
109 方向により安全を確保する、と計画に載せられております。また、暮らしの面では居住地につ  
110 ては低線量地域、高台等への移転、地域コミュニティ等への配慮、ということになります。また  
111 墓碑等の整備ということで共同墓地等の整備、慰霊碑等の整備ということであげられております。  
112 3つ目の生業については、漁業については漁港の復旧、放射線対策の実施。農業については様々

113 な形での農地利用を検討する、とあげられております。

114 それで、集団移転のイメージですけれども、宅地については、東日本大震災により大津波によ  
115 って被災を受けています。住民の安全確保の観点から住居、居住を宣言する必要がある、という  
116 考え方に立っております。それで、一定の居住制限ということで、災害危険区域の指定、移転促  
117 進区域の指定、移転先の確保などを地域との連携に密に協議をしていくということでございます。  
118 これには、復興災害公営住宅の整備が欠かせないということで、検討を進めていきたいというこ  
119 とでございます。

120 また、減災のイメージであります。これについては、国道6号線、また県道広野小高線、さら  
121 らに沿岸防潮堤ということで、それを境目にして、計画を立てております。まず、海側の防潮堤  
122 については7.2mという数字もありますが、防潮堤から西側、浜街道までの間については、防災  
123 緑地とするという考え方でございます。また浜街道から6号線の間、ここの低線量居住エリアに  
124 ついては住宅等の整備を行うことが検討されております。この土地利用のイメージということで、  
125 平面で見たものが右側の図になります。住宅等については、西側の低線量区域また北側の北棚塩  
126 地区の高台、そこに住居を整備したいというような考え方があります。また、浜街道から西側に  
127 ついては再生可能エネルギー等のゾーンということで整備を進める。またその東側については、  
128 災害防止ゾーンということで防災をはかるというような計画になっております。これについては  
129 今年の10月に浪江町の復興計画が策定されておりますのでそれに基づいて引用させていただきました  
130 ました。以上の資料を踏まえまして、復旧・復興についての論点についてご議論をお願いすると  
131 という形になりますのでよろしくお願いします。

132 【木幡 敏郎 副部長】

133 この浪江のイメージ、このような姿になるまでには、まだまだいろいろ皆さんの意見を出して  
134 いただいて、というふうな事になるかと思えます。行きつくところ、前回のお話のようにまず双  
135 葉町が復興することというその為ということで、いろいろお話ありましたが、今日はまず、被災  
136 地域の考え方ということでいろいろご意見をお聞かせいただきたいと思えます。それでは、本  
137 日、皆さんからご意見をいただく前にオブザーバーという形ではありますけれども、区長がお見  
138 えでありますので、思いとか、またこう地域をどのようにしたら良いのかということも踏まえて、  
139 お考えがあればということで、思いを語っていただければと思えますので、それでは、菅本浜野  
140 区長お願いします。

141 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

142 双葉町で1番被害の多かった地域の浜野という地区の中浜と中野のこの図面でいいますとある  
143 んですけれども、この中で1つ訂正していただきたいのがあるんですけど、この浜野地区の50  
144 世帯なんですけど、これ実際51世帯なんです。本当はうちの戸数は49戸なんですよね。49戸  
145 なんです、結局グループの造成の中で隣組に入っていないのが2戸あったんです。それは別に独立  
146 して住んでいますから。それを合計して全部で51戸なんです。まず、それが1個。それから、  
147 このふるさと再建部会の委員会名簿があるんですが、これ誰がお決めになったんですか。私、こ  
148 れ初めてこれを聞いたんですが。どんな経過を経て決まったことなんです。これについて不服  
149 の件もあるんですよ。このメンバーの中で、このメンバーはメンバーでいいでしょうけれども、  
150 復興という、津波による、塩害復旧・復興についてということで、これ郡山区長も入れた方がい

151 いのに、これ入って無いからさ。あとその前に、この地区の農業者の代表も入れてほしかったの。  
152 あこの住宅地域はもう本当 90%近く、ほとんど 100%だな。うちの田んぼのある面積の 100%が、  
153 津波で塩害でやられてるんですよ。ほぼ全域に津波きてますから。うちの方の管轄している農  
154 地がね。そういう方の意見も聞かなくちゃいけないんじゃないかなと私はそう思う。なんで山手  
155 の方の農業者の代表者だけが選ばれてなんで浜の方がないのかなと思った。なんのための津波な  
156 んだと、津波の意味がない。山の方は、津波に遭ってないでしょう。

157 **【木幡 敏郎 副部長】**

158 それは事務局の方から、その辺簡単に説明をお願いします。

159 **【事務局 平岩 邦弘】**

160 浜野区長からの今お話のありました件についてはご意見についてはごもっともだと思います。  
161 今回の部会につきましては、まず復興まちづくり委員会というものを今年7月に立ち上げて、  
162 各関係機関、それから学識経験者、町職員等で構成する 45 人のメンバーで委員会を立ち上げま  
163 した。その委員会で審議していく中で、テーマはかなり幅広くなってしまったというのがありまし  
164 て、部会でそれぞれのテーマ毎に話し合った方が良さだろうというような意見が大分出されてお  
165 ります。それを踏まえまして、10月16日に開催した第3回目の委員会の中で、3つの部会を作  
166 るということで、論点整理をしたところであります。この部会については、ふるさと再建部会と  
167 いうことで、帰還の条件に向けた議論を行うということを主なテーマとしておりますが、浜野区  
168 長からお話があったとおり、津波被災地からの住民代表が入っていないんじゃないかという点に  
169 つきましては、ごもっともでありますので、それについてはご意見ということで承りたいと思  
170 いますが、今回の部会については、地元区長の意見も充分踏まえて、復興計画に反映させる必要が  
171 あるということで、オブザーバーという形で大変申し訳なかったのですが、今回区長にご案内し  
172 たところでありますので、今回の結果についてはご了承いただきたいと思います。

173 **【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】**

174 わかりました。

175 **【木幡 敏郎 副部長】**

176 よろしくお願ひいたします。郡山区長にも本日お声掛けはさせていただきましたが、所用があ  
177 ると、それから計画というのは全体で考えるという意味では浜野の農業もいろいろ土地利用も決  
178 して考えない訳ではなくて、またいろいろな形でやっていかななくちゃならない。それは双葉町全  
179 体という意味ですので、よろしくお願ひ申し上げます。何か忌憚のないご意見をお願いします。

180 **【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】**

181 現在仮の町ということではいわきに役場が移転する予定のようですけども、それはあくまでも仮  
182 の町であって、いざ帰還という時に、果たして双葉町に帰還したいという方はどのくらいいらっ  
183 しゃるんですか。それによっても違ってくるんでしょうけれども。ただ私は、いろいろな報道関  
184 係とか、この前政治で、関西の方で、私京都に住んでいるので、関西テレビでいろいろやっ  
185 てるのを見まして、チェルノブイリの実際の現状が、この間テレビで流れてたんですよ。それを見  
186 ると、とてもじゃないけども 20 年、30 年そこらで帰れるような状態ではない。どれくらいの今  
187 の科学の発達によって除染が例えできたとしても、どのくらいの期間で帰れるか。まず帰還でき  
188 るとすれば、私は帰って、その帰還したときに今の浪江町の浜街道の防波堤ありますよね。この

189 話は、実は私先日飯坂で土地改良の会議があったときに、私この話したんですよ。その会議、こ  
190 の話も出たんですよ。双葉はどうなんだということで、私もいろいろとご相談、いや浪江はこう  
191 いうことになれば、双葉もやっぱり、全体で郡というか、浪江と双葉と併せてやるべきじゃない  
192 かと。だからそれ、町長つついて双葉にも声掛けてみてくれとお願いをしたんですよ。コツは私  
193 はわかってるんでね。まだ、それは本格的になんないんで、ということと言ってますけど。あと、  
194 帰還ができないとすれば、もう1つの考えは、これはもう移住ですよ。チェルノブイリでは、  
195 実際30km圏内というのは全部移住してるんです。仮設住宅とかなんとかとか生易しい問題じゃ  
196 ないですよ。移住してるんです。それは全部国でやってくれるんです。それと移住したい人た  
197 ちの食料まで、正直言ってこれはこの紙に書いてあった、これは実際やっているんです。これは  
198 結局は最低限これくらいのこと、やっぱり国の方と県の方と良く相談してやっていただけるか  
199 かなと思うんですよ。もし帰らないとすれば、移住。移転じゃなくて移住、単純に、町ごと移住。  
200 それでできれば、何とか国の方と日本サッカー協会の方に協力もらってJヴィレッジの方に少し  
201 でも近くの方がいいかななんて考えたりしてね。

202 【木幡 敏郎 副部長】

203 途中ですから、まだいろいろお話していただきたいと思いますが、やっぱり前回、参考までには  
204 この部会としては、双葉町の再建といいますか復興といいますか、それをまずするという事を  
205 前提に考えてみるべきだということで、この委員会としては検討していきたい。ただ区長が心配  
206 されたようにまさにその通りなんです、ただそれを双葉町というのは、戻るということをイメ  
207 ージとしては持って議論してみるべきで、これは他の市町村もそういう考えで、頭からかなり厳  
208 しいのは皆さんわかってるんですよ。それはそうするためにはどのような除染とか、それから取  
209 組をするというのは、これから出てくると思うので。この浜野地区が復興、テーマの2つ目にも  
210 ありますが、どのように復興していくのかということにも絡みますが、この論点の中にあります  
211 ように、浜野地区は低い地域だということではあります。町全体では高いところもありますが、  
212 そんな中でこの浜野地区、津波被災地域をどうするかという、そのような考えに立てば、区長の  
213 いろいろな考えを、まずお聞かせください。

214 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

215 それについてはまた別の考えもあるんですよ。

216 【木幡 敏郎 副部長】

217 まず、それをお聞かせいただければと。

218 【武内 裕美 委員】

219 菅本区長が仮の町がいわきというお話をされたのですが、あくまで役場機能だけで、仮の町に  
220 ついてはこの委員会の中の、他の部会もありますが、この委員会の中で決定していくというこ  
221 で、あくまで役場の移転と仮の町は別問題ということで、お考えいただきたいと思います。

222 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

223 わかりました。あとこの浜野地区というのは正直言って、国の方の、宮城県でもなんでもそう  
224 なんですけども、海から何kmまでというようなことが、結局はこれはもう立入り禁止だと、建  
225 てることは禁止だというような発想を聞いたことがあるんですけども、国の方にすれば結局、  
226 今言ったここに書いてあることに関しては、大雑把なことではわかんなくなっちゃうよね。国でこ

227 の浪江で書いたこの地図ありますよね。その前の津波にあった地域の地図ありますよね。これ結  
228 局どの辺までがそれを国として考えているのか。どこまで家を建てちゃいかんとか、住居しない、  
229 人も住んでいないという、そのラインというのがあると思うんですよね。まず、それを決めても  
230 らわない事には、これはどうにもならないんじゃないんですか。ただ、構想としてはその浪江の  
231 出した浜街道、この嵩上げは確かにいいと思うよね。ただ双葉の郡山地区と浜野を結ぶ間はあま  
232 りにも近過ぎるんだよね。ですからその所を、橋もそうですけれども中浜の橋は流れましたけ  
233 ど、新しくできた浜街道は残っていますから、あとはあそこをまっすぐにして郡山の現在のとこ  
234 ろにぶつけると言ったらそんだけの幅があれば、まだあそこで 100 何 m ありますから、そうい  
235 うことで新たに第2の防波堤みたいな恰好で作っていただければその西側というのは住宅地域で  
236 もできるんだと。そうなった場合は正直言って、1 番最初に帰りたいと騒いでいるのは若い人よ  
237 りも年配の方が多いんですよね。ある静岡県の方から電話してきて、「うちの親父困ってんだ。  
238 帰りたくてしょうがないんだけど、みんなのいるところに行きたくても生活できないからここに  
239 いるしかないんだ。」来ても息子等の職がないからどうにもならないですよね。年配の方が帰り  
240 たいと言っても、どうなってんだ、役場の方の、いろいろな会議でっけれども。これまだどうに  
241 も、海のものとも山のものともつかないから今のところわからない。ということで、できれば本  
242 当、この浜街道の西側を居住区域と、そしてお墓の問題もここに書いてあったけれども、お墓の  
243 問題も正直言って全滅です。これはお墓の問題は、私どもと浪江町中浜も一緒なんですよ。双葉  
244 で津波にあった地域と中浜地区というところと中野地区という、この3つの部落でほぼお墓が1  
245 ヶ所に集まっているんです、それで、私らでは何にもできないけど、浪江町と相談しなくてはな  
246 らないんですけれども、ただその責任者として私になってるもんですから、それはどうにかなろ  
247 うと思うんですけれども。この移転については、新しい住居のすぐ近く、できれば、浜街道から  
248 西というところと両竹の山の一部とか郡山の山の一部を何とかして譲り受けて、そこに共同墓地を作  
249 たらいいんじゃないかなと思うわけですよ。住居は正直言って、年配者が多いのですが、今の  
250 県営住宅と市営住宅と5階未満というのはエレベーターついてないんですよ。お年寄りを1階だ  
251 けに住ませるといっていかないと、もちろん1階だけで間に合えばいいけどおそらく間に  
252 合わない。ですからそれは、県と国の基準といえますか、エレベーターをつけていいというのは  
253 5階以上なんですよ、6階以上つくらないとダメなんですよ。私らは今、京都の県営住宅の6階  
254 建ての方に入っているんですけれども、エレベーターがついてるんですよ。年寄りの家の場合足  
255 が悪いもんですから、最初はエレベーターの無い方だった。「エレベーターのあるところにしよ  
256 う」とお願いして、現在入ってるんですけれども、何不自由なく今のところは生活しているん  
257 ですよ。そういう関係で、もしできるならば、そういうような集合住宅みたいのを作るんだらば、  
258 エレベーターを完備した集合住宅をつくっていただきたい。これは若い人ばかりじゃなくて子  
259 どもたちもやっぱり大変なんですよ。県営住宅に入ってみるとよくわかるんですけど、5階まで  
260 上ると買い物したときにへとへとなんですよ。そういうことで、住宅関係はそういうことでお願  
261 いしたいということです。私の意見として。あとは、その他土壌の問題言っただけでも、あと先  
262 程も言った、帰還に関しての皆さんの考え方ですね。アンケートの資料というのは取ってあるん  
263 だろうとは思いますが、どれくらいの比率でなっているんだかできれば教えていただければ  
264 有難いですね。

265 【木幡 敏郎 副会長】

266 そのあとまた細かいところはまた皆さんとお話できればと思います。よろしく願いいたします  
267 す。帰還のアンケートについて事務局お願いします。

268 【事務局 平岩 邦弘】

269 今、浜野区長からお話のありました帰還のアンケートでございますけれども、これについては、  
270 住民意向調査という形で、これを12月に実施したいということで、検討を進めておるところで  
271 すので、その中で住民の方の考え方を把握していきたいというに考えております。

272 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

273 その中でできれば年齢別なこの、あれを出していただけるとありがたいですよ。

274 【事務局 平岩 邦弘】

275 アンケートの中には年齢を書いていただくことになっておりますので、その帰還に向けた考え  
276 方というのが集約できるようになっています。

277 【木幡 敏郎 副会長】

278 齋藤区長がこれまで避難をされて本日のテーマも踏まえて、思い・考えなどをお聞かせいただ  
279 きたいと思います。お願いいたします。

280 【オブザーバー 齊藤 六郎 両竹区長】

281 両竹区長の齊藤です。津波からの復興というお話ということで呼びいただきましたけれども、  
282 私、津波に襲われて、津波が上がった後、まだ、塩水が残っていたところをがくがく行きながら、  
283 中浜地区は大丈夫かなと思って出てみたらもう100m隣の浪江町、菅野商店とか、あの辺の家が  
284 全部土台だけしか残っていない、何にもなかったんですよ。はるか向こうに船が見えて、残っ  
285 てんのは小学校だけ。もう本当ビックリしましたね。そういう状況を私見まして、これ復興する  
286 のは容易なこっちゃないなと、実はそういう思いであったんです。そんな思いもあったもんです  
287 から、浜野地区の代表どなたかやっぱりほしかったですね。区長あたり委員に入れていただきた  
288 かったと、これがまず第一点。それに付随して、第1回の区長会があったときに津波の思いがあ  
289 ったもんだから、「中浜のあの津波に流されたあそこをどんなふうにして復興する考えなんだ」  
290 なんて私申し上げて、「今そんな話じゃないだろう」というお叱りというか、受けたことがある  
291 んですけども。本当に私の思いは、やっぱり浜野地区の復帰がなければ双葉町の復興とは言え  
292 ないじゃないかなという思いです。そういう思いでおります。

293 前置きはこれくらいにいたしまして、まず浜野地区の津波に流されたところをどうしたら良いも  
294 んかと思って、先程浜野区長とお話したんですが、私としては結論としては、浪江の復興計画で、  
295 津波に上がったあの地区に、嵩上げをして、そして、あそこを公園にするか、何かそういうこと  
296 を考えて、浪江の請戸地区は、大平山に集団移転するという話だそうですが、浜野区長に聞いた  
297 ところ集団移転というのは、私は考えていないんだと、個人個人の考えでやってもらうしかない  
298 んじゃないかなという話ですが、その辺のところはどういうふうにしていくかは、私らも関与で  
299 きないかなと思います。ただ、津波に上がった地域は嵩上げしてそして公園か何かにするという  
300 考え方は、いいかなと思います。あともう1つ、両竹地区の話は、あちこち飛びますが、浜野地  
301 区は全滅なんです。津波に流されて。ただ、津波は上がりましたけれども、幸いに両竹地区は家  
302 が残っているんです。ですから、早く帰って家を修理すればまだ住めるんです。そういう状況で



303 す。ですから、そういう点では浜野とは少し違うんで。それで話前に戻しますが、堤防を嵩上げ  
304 するとか云々とかという資料4番にあの資料に足してもらいたい事があるんです。というのは実  
305 は両竹地区、津波にやられたのは、ひどいところは、前田川の傍の住宅なんですよ。ですから、  
306 河川堤防の嵩上げをお願いしたいということなんです。これは是非お願いしたいです。その理由  
307 として、津波だけじゃないんです。実は大雨降ると、道路が冠水して通行止めになっちゃうんで  
308 すよね。そういうことがあるので、堤防嵩上げをしてそして、河川の氾濫にも役立ちますんで河  
309 川を広げるといのはおそらく難しいでしょうから、せめて堤防くらいは嵩上げしていただきた  
310 いなとは思いますが。あと、住民の方々の意見を聞いてみますと、若い人ほど帰りがらないとい  
311 うような現実ですね。お年寄りの方は、「帰りたい、帰りたい」と言ってます。ですから、両竹  
312 地区は家があるだけに「家に帰りたい、家に帰りたい」と今言っております。つくばにも避難し  
313 ている両竹の方おりますけども、「ここで俺死んでいくのかな」なんて言われると何とも切ない  
314 想いしますけれども、「早く帰りたいな」と言っております。

315 【木幡 敏郎 副会長】

316 その時にどのような町にしたらいいのかというイメージだけでもということに、まずは取組ん  
317 でみたいと、ということでは。

318 【オブザーバー 齊藤 六郎 両竹区長】

319 双葉町全体のイメージとしては、私は、仮の町は集合住宅でなくとも、大字単位で住めるよう  
320 なそういうあれがあれば。ですから、集合プラス分散型、そういう形でもいたしかたないかなと  
321 思います。ただ、仕事とか子どもとかお持ちの方は、そうはいかないかなと思うんです。学校  
322 とか、職場などを考えますと、やっぱりいろいろな相手方もありますんでね。仮の町では、そこ  
323 はやっぱり無理の言えないところかな、というふうにも思います。以上です。

324 【木幡 敏郎 副会長】

325 ありがとうございます。本当に両区長、大変な思いで、被災をしてまた現在頑張っておられる、  
326 その苦労は、私ら以上にでしょうけど、私らもともに共有していきたいと思えます。今日のテー  
327 マは、そのような双葉町はまだ希望という、町にあるのかどうかをこれからの取組ではあります  
328 けれども、目標としては、帰るということを頭に描きながら、もしも浜野地区が、今日の論点に  
329 もありますけれども、どのような位置づけ、役割ということを、事務局でもやっておりますが、  
330 浜野地区がどのようなその役割であれば町として良いのかなという事についても、またいろいろ  
331 聞かせをいただければと思います。それでは、ただいま区長からいろいろ思いとか苦労話も踏ま  
332 えてお聞かせいただきましたので、委員の皆様から、本日のテーマであります、帰っても本当に  
333 良い町だと、良い町でなんなくちゃなんないというふうな、区長のお話でもありましたが、委員  
334 の方々からの何か考えなどありましたらお願いします。

335 【西内 芳徳 委員】

336 私個人的な考え方なんですけれども、津波の被害のあった中野、中浜、両竹に関しても、町で  
337 決めるのは難しいと思うんですよね。理想、両方をつなげるけどあくまでも決定権があるのは国  
338 だと思うんですよね。高台移住にしても居住宣言にしても、近々選挙もありますし、どういう政  
339 党が与党になるのかわかんないけど、早くこの回答を出してもらって、海から何 km が制限であ  
340 るのかって、先程菅本区長が言ったように、やはりそれをやってももらわないことには、新地なん

341 かも決められないんですもんね。一步先に新地なんか路線価というか実在価格の80%で国が  
342 買い上げるとか、どんどん進んでいるところは進んでいますよね。原発の賠償なんかも浜野、両  
343 竹、どういうふうに扱われるか、除外するおそれのある中で、国の方でどういう形で補填してく  
344 れるんだという、明確に、早く示させた方がいいと思いますし。

345 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

346 前が見えないからみんな困ってるんです。

347 【西内 芳徳 委員】

348 そうなんですよね。そういった町としてまずできるのは要望なり、要求を早急に国になり繋ぐ  
349 べきかなと思います。

350 【木幡 敏郎 副部会長】

351 その点についてはまた後程、事務局も踏まえて、いろいろ話をしたいと思います。宗像委員も  
352 海に一番近い家でありましたが、何か考えとか、こんなふうにしたらとかありますか。

353 【宗像 邦浩 委員】

354 この浪江町の計画のイメージにあるように、浜街道の嵩上げは、やっぱり一番かと思えますよ  
355 ね。ただ浜街道と海岸線の距離が、郡山、浜野が近いんで、その辺は考えてもらって。あと、河  
356 口にはやっぱり水門が必要かなと。浜の駅があったところが1番酷かったんで。あと、1番水が  
357 集まったからあれだけ被害が酷かったのかなとも思いますので。

358 【木幡 敏郎 副部会長】

359 このインフラの復旧、破壊されたインフラの復旧というのは当然住むというには必要な整備な  
360 んですけど、その整備をするにはどのような地域にしたいかという、今の河川の水門というの  
361 も当然ですね。いつ再び起きるかわからない津波とかそのような災害に対しては、あの河川の堤  
362 防の嵩上げという区長からのお話でありましたけれど、当然人が住むにはいろいろな防災、減災  
363 という取組みは必要ですね。私もなかなか難しいんでこのテーマは、ただこんなふうなとこに  
364 したらいいのかなというイメージとしては、今の状況では、まず住むには厳しいと思うんですよ  
365 ね。もう地盤沈下した、田畑、住宅もそうでしょう。そのような事を踏まえて、この地域は何になっ  
366 たらば、緑地地帯を設け、そして嵩上げた防潮堤とか、そのような津波対策に道路の嵩上げと  
367 かということも踏まえて、安全なところに住宅をつくるというようなことかと思うんですが、今  
368 の区長方のお話にも現状ではなかなか住むには不安なところだというようなことだと思えます。

369 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

370 先日、原子力の新しい損害賠償の説明を京都でもやったんですけども、東京でもあって、私  
371 も行きましたけれども。その時にもね、電力と政府の方にはお願いは、お願いというか、どうなっ  
372 てんだということを聞いたんですけど。まず、私ども住民が住むには、今言ったライフライン、  
373 その他にやっぱり農業の町なんですよね。その農業の安全な水をどうするかなんですよ。山ま  
374 では除染しないというから、農業できないと思う。雨が降るたびに放射能がどんどん、川内とか葛  
375 尾で一時期やっておるんですけど、黙阿弥だ。いくら下水、用水を掃除して放射能取っても雨降  
376 るとまたそれが溜まってくる、そんなような状態。ですからやっぱり、やるなら徹底的に山まで  
377 やらないと農業はできない。大柿ダムだって結局は線量の高い津島にあるわけです。あそこ辺り  
378 は、表面は放射線ないらしいですが、下に溜まっている泥がいつ攪拌されて放射能巻き上げるか

379 わからない。その水を結局引いてきている訳だから、結局、またするのと言っても水道はどうす  
380 るんですかって。農業用水、下水道だっておそらく地震で相当のことまいてると思うよ。ただ  
381 私もう1つ1番心配なのは、今回大きい地震があったけれども、大きい津波を起こす震源が太平  
382 洋プレートに、福島県沖に1つまだ残っているんですよね。その証拠としてどういうことか、例  
383 えば宮城県の地震ありますよね。あれだって、今までこうなって、これがこう入ってきて、だ  
384 だんこう持ち上がってきたんですから宮城県の気仙沼とかこう土地が高くなってるんです。ポー  
385 ンと跳ねたらどーんと水の下で、これが福島県にまだそれがあると地震学会のある学者が言っ  
386 ますよ。私それをもって平成21年に防災の組織をつくったんですけれども。それで、明日来  
387 てもおかしくない、明後日来てもおかしくないということで、12月26日、私、全住民を集めて、  
388 それ話をしたんです。その年明けの3月11日にあの津波がきたわけです。ですからもう、そう  
389 いうふうな心構えを、だからたとえこれが何十年後にたとえばこうして、その前に津波でも来  
390 ば、おそらく中野中浜は地盤が下がります。東京でももちろん下がります。この前、請戸港行  
391 ってきましたけど、高さが前と同じなんですよね。これが恐らくどんと下がるんですよ。だから、  
392 そういうことまで考えると今その復興に関してのいろいろな話があるけども、果たして皆さんど  
393 こまで考えているのかなと思うわけです。それと、先日も区長会で、浜野は「一番線量低いから  
394 あそこに住宅建てっか」と、「建てんなら建ててみる」と言ったんだ。あそこ国で買い取るよう  
395 なってる土地だからさ、話題になっていつも言っていましたけど、実際問題として、そこまでや  
396 ぱり我々がそのあの地域に住んでいると、そこまで勉強せざるを得なくなっちゃう。これからの  
397 ことどうするんだと。ここまですべて行政の方でも少し考えてやってくれているんだから。その  
398 問題だって私どもの方で16名死んでいますけれども、防災組織立ち上げたときに、なんで俺の  
399 ところもっと早くよこしてくれなかったんだと。1軒ごとに、ライフジャケット1個あれば、年寄  
400 がたとえ逃げ遅れても、あのライフジャケット着ていれば2人助かるんですよ。1人つかまれ  
401 から。そういうことを役所の方のある方に、「見ろ、お前んとこ俺んとこ1年遅れてたから、16  
402 人も死んじゃったの。それがあればそういうことで助かったものを助けることができなかつた  
403 」というのが私の1番の悔しい思いですね。それと今齊藤区長が言ったとおり、集団で一応集  
404 合的な集合住宅をつくるというふうなこともあるんですけれども、やはり農家というのは昔から、  
405 確かに各家の流れ、そういうようなことを聞くこともあるんですよね。「俺のところは本家だか  
406 ら家をつくらなければならない。」「町の復興なんてのはもう考えていらんねえ」と、そういう  
407 方も正直5人くらいいます。既に土地買うのと、それから家建てている人と全部ひっくるめて5、  
408 6人はいますね。その人らは大体もう帰ってきません。だからそういうことは早めにやっぱりや  
409 っておかないと、どんどん遅れれば遅れるほど、余所にいた方が居心地いいから、町に帰還する  
410 人間が少なくなってくると思うんですよ。仮設よりも借上げ住宅の方が居心地いい訳です。

411 【木幡 敏郎 副部長】

412 限られた時間で、この次の復興会議の方にも是非参加をしていただきたいなと思いますので、  
413 今のところ、まずインフラの整備、なかなか住宅に厳しいというご意見はもっともです。それを  
414 だからどうしたら住めるようになるのかというのが、どの町も宮城県も岩手県もみんな苦勞して  
415 なんとかやってみようじゃないかということですので、今区長さんが言われたような住宅のよう  
416 な、住めるような取組が必要だというようなことも踏まえて。それでは武内委員、渡辺委員、大

417 橋委員、このテーマについての、何か考えなどお聞かせいただきたいと思いますが、なかなか難  
418 しいテーマではありますけれども、基本としてはやっぱり条件整備をしないと、どうなんだとい  
419 うことかと思うんですけど、武内委員どうですか。

420 【武内 裕美 委員】

421 今、町としては、区長方にも前に図って町全体を帰宅困難区域というふうな形で、進めたいと  
422 いうことで、国との協議をやっているところなんですけども。そうするとやはり基本的には5年  
423 間は最低限帰れない。その間除染技術が開発されて、急激に線量が減ることになれば別で  
424 すけれども、5年間ということになります。

425 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

426 ライフラインの方は、どれくらいかかる見込みなんですか。予定としては。

427 【武内 裕美 委員】

428 その後ということになってきますので、その間に、入って調査はしていくということになると  
429 と思いますが、その後ということですね。

430 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

431 下水道処理場はどうなるの、あそこは使えるの。

432 【木幡 敏郎 副部会長】

433 大橋委員の今の思いと、そういう質疑をお互いフリーでやりましょう。

434 【大橋 利一 委員】

435 ライフラインの関係ですけれども、これは県とか、考え方なんですけれどもね。先般、県の総  
436 合計画の中で県の方から帰還の見直しということで、素案ということで来たんです。その中で見  
437 てみますと、ほとんど浜野地区は抜けているんですよ。あの相双の管内で素案のなかなか作成ま  
438 でいかないということで、新地とか広野くらいまではできるんですよ。やっぱり特に警戒区域  
439 とかで避難されている、もう1つは今言ったように、線量で分けれますよね。そういうところ  
440 でも50m Sv以上であれば戻れないということになると、立ち入りもできないし、当然ライフ  
441 ラインの整備も手をかけてもできないことなんで、県も大変苦労していて。どっちかという各町  
442 村がやってますけれども、そういう計画が上がってくれば、それによって国の方も検討して、国  
443 としての考えも示しますんでね。本当に難しいんですよ。どちらが先という話になっちゃうん  
444 ですけども、下水処理場と橋というのは、それについては今のところ全く見通しが立たない。完  
445 全に壊滅的なので、仮設なり別の方法で考えないと。

446 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

447 めでたく帰ることになって、ライフラインがどれくらいの期間でもってできるかというのは、  
448 その辺の見積もりもあるんでしょうけども。

449 【木幡 敏郎 副部会長】

450 今の段階では、まずはライフラインをやるということで、それがどれくらいの額だとか、どれ  
451 くらいの期間だとかというのは、まずこちらで。

452 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

453 我々は期間なんです。額よりも期間なんです。早く帰りたいという人のために、やっぱり  
454 金額じゃないんですよ。期間なんです。どれくらいかかるんだという。そうするにはどれだけ

455 の方法があるんだと。

456 【木幡 敏郎 副部長】

457 それを話として、まずやっていきたいと。

458 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

459 我々は専門家じゃないから、その辺のライフラインの復興に関しては、やっぱり県なり国なり  
460 役場職員の方にご道理いただいて、やっていただくしかなんないんですよ。我々がすると言って  
461 もできる訳ないんだよ。その辺のところと。1 番正直言ってずるずるしているのが国なんだよね。  
462 これどこまでもいったって、今のところどうにもなんですよ、自分たちのことで。

463 【木幡 敏郎 副部長】

464 話は戻りますけれど、先程住むには水だと、農業やるんだって水だと、この水についての情報  
465 ありますか。除染、放射線の減衰というのか、半減期ではないけれども、水の情報というのは何  
466 かある。

467 【武内 裕美 委員】

468 木戸ダムの方の供給は、広野とか檜葉とかにしてると思うんですが。ただ今、先程区長が言わ  
469 れたように、表面水は大丈夫なんですよ。下の汚泥といいますか、それをこう測った訳ではな  
470 いんで、それを測ればどんな数字になるかわかんないと思うんです。表面水は測ってもなんでも  
471 ないということで今使ってますけど。

472 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

473 すごい線量。

474 【木幡 敏郎 副部長】

475 だからこの計画に、浪江も請戸の使ってるんですよ、農地と書いてあるけれど。浪江は双葉  
476 の倍、3 倍くらいあるよね、農地はね。その水は大柿だから、その辺についてはどうですか。

477 【武内 裕美 委員】

478 農業用水のね。

479 【木幡 敏郎 副部長】

480 実際だから、双葉町の浜野地区は、土地を使わないいろいろなメガソーラーであり、それから  
481 今の植物工場とか計画はいろいろ書けるけれど、現実には水はどうなんだということを考えれば、  
482 これが何年後に使えることになるのかなというふうな見通しというのはどうなのかなというこ  
483 とも踏まえてやっていかなくちゃんないのかなと思うんだけどね。その辺についての情報っ  
484 てないですかね。大柿ダム。今現在どれくらい、水面上は大丈夫な線量。でも、大丈夫といいな  
485 がら実際は山から来てるんだよね。あそこも、だから表面上大丈夫か、何 m Sv。

486 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

487 表面上は問題ない。

488 【木幡 敏郎 副部長】

489 水が使えるのかということ。

490 【西内 芳徳 委員】

491 水は遮蔽しますもんね。だから実態がわからない。

492 【木幡 敏郎 副部長】

493 遮蔽してるからいいのですよ。その泥が今度流れてくると大変だということになるんで、そう  
494 すると使えない。しかし、この浜野地区の水を使わない、これ私ばかり言ってる。どういう位  
495 置づけにするかというところで、あの 2 番目の双葉町の帰還が可能となった場合をイメージして  
496 いただければ、この津波被災地域をどのように復元、復興していくかということ为例え考えた  
497 時にどうですかね。

498 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

499 復興するにしても若い者の生活自体が成り立っていない。

500 【木幡 敏郎 副部長】

501 だから、そのためには働くところ、まず工場が必要だという意味ではこの地域にね、考えると、  
502 浪江のよにというふうなイメージをやんなくちゃなんない。

503 【武内 裕美 委員】

504 何回か、西内委員の方から出てますとおり、国の方で、どのくらいの嵩上げすれば、今回起き  
505 た津波の原因に対して安全かというふうな計算もされていると思うんです。それをやっぱりいた  
506 だきながら防災緑地というものを、ある程度海岸から防災をとって、あと浜街道がもし、あそこ  
507 ではダメだということであれば、また移設というのも出てくると思いますんで、その辺の基準を  
508 しながらかやっていくのかなということ。あと廃炉地については、やはり何案か事務局の方から  
509 進めて、出ましたけれども、その中でやはり個人個人の土地があるんで、そういう移転をする場  
510 合には土地利用の区画整理ですか。組合的なものをつくって、その中で一体的な居住区域を整理  
511 して、農地も含めて、そんなようなイメージにするしかないのかなという頭でいるんですけれど  
512 も。

513 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

514 土地改良でこの前会議やった時に、私も意見を述べて、この際だから基盤整備したらどうなの  
515 よと。1 反 1 枚じゃなくて、10 反 1 枚、5 反 1 枚、どうせ変えることだから、そのついでに一緒  
516 にやったらどうだ、ということで電話しました。宅地も全部含めてね。宅地は宅地で別になりま  
517 すけども。科目が、農業とまた違う。農業の問題としてはそれが一番ベターじゃないのか、いい  
518 んじゃないのかな。そっちの方で、支部長の方で考えて。

519 【武内 裕美 委員】

520 そうですね。あとは両竹地区がまだ家屋が残ってるんで早く帰れば修繕も可能だということ  
521 でおっしゃって、その間、各地の嵩上げをどうするかってことも出てくるかと思うんですけど、  
522 そうなった場合ね。今のまま修繕しても、一部残っては、一体的な整備ということになっていく  
523 んではと思いますけれどね。

524 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

525 だけど両竹の半分くらいまでダメじゃないのかな。

526 【木幡 敏郎 副部長】

527 津波で被災してるということね。流されはしなくても。

528 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

529 柱は、多少くってるのもあるし、曲がってるし、水含んでそのままになってると 5 年過ぎると  
530 みんな腐っちゃうんですよ。ですから恐らく半分は住めないんじゃないかな。実際住めるのはた

531 った1軒だけだからね。あとはみんな全部ダメ。

532 【武内 裕美 委員】

533 あとはやっぱり浪江町との摺り合わせというか、整合性というかね。

534 【木幡 敏郎 副会長】

535 それも大事。浜野地区は特にね。

536 【武内 裕美 委員】

537 浜野地区は特にね。片っぼだけ土地低くてはどうしようもない。やっぱりある程度浪江が先行

538 しているのであれば、ある程度。

539 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

540 防波堤は先行してやってもらえばいい。川内の方の共同墓地のあるところ、防波堤もまるつき

541 り無いんだから、それが家具も一緒に流れてきて、はたしてみんな持っていかれて。

542 【木幡 敏郎 副会長】

543 例えば、双葉は双葉でということですけど、参考になる浪江も同じですからこのイメージと

544 して、やっぱり津波被災した地域は本当は元の高さに埋め立てとか、山を崩してとかがあるんで

545 しょうけれども、この棚塩地区は浜野地区は防災や緑化ですか、こういうふうな地域にとして。

546 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

547 復興計画でメガソーラーでも何でもつくったらいいんだよ。

548 【木幡 敏郎 副会長】

549 それも産業という意味ではひとつですよ。

550 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

551 この区域に防波堤立ち上げたとしても、おそらく難しいと思う。すぐには住めないから。

552 【木幡 敏郎 副会長】

553 やっぱり安全と言われるような高台だというふうなことではあると思うんですけども。

554 【武内 裕美 委員】

555 郡山地区は高くなっていて安全ですので、それで宅地的になるところもあると思うんですよ。

556 あの辺の家あたりを一体的な整備を。

557 【木幡 敏郎 副会長】

558 ただ、そこに行くと郡山地区の心配な点は、今の原発の近くという意味で実際どうなのかなっ

559 てところはあるのかな。今の、燃料を取り出すのにも数十年というところでは、それはきちっと

560 やっているというのを踏まえては離れた方がいいのかな。そういう意味では、やっぱり両竹地区

561 の山とかというのは、ひとつにはいいのかね。

562 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

563 両竹の全体として、原子力発電所の燃料棒を取り出すことができなければ、これは帰ることは

564 できない。何故かというと、あんなシート被さったような、子ども騙しのようなことではダメだ

565 と言ったの。チェルノブイリがどうなっているかということ、全部コンクリートで囲ってるんです

566 よ。

567 【木幡 敏郎 副会長】

568 それはもうみんなこの委員は、それを踏まえて、それらが解決されなければ、厳しいだろうと

569 いう考えでおるんです。双葉町をどういうふうにしたらいいのかという、前に向かっての計画だ  
570 けは作ってみたいというので、それから更に進めた意見もお願いします。現実厳しいので、それ  
571 はそれで進めていかれると思います。

572 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

573 何もこれは、永久的にじゃなくて、その都度その都度帰るのは時代の流れで、その時の状況に  
574 よって、何も方向転換していいわけだから。柔軟的にやりましょうよ。

575 【武内 裕美 委員】

576 先程、国の方でね、いわゆる浸水地域だとか、あるいは高さはどうなのかとか。申し訳ないの  
577 ですが福島復興局の鈴木参事官補佐、国の方では何かそういうところでその提示だとかは。

578 【福島復興局 鈴木 伸彦 参事官補佐】福島復興局の鈴木と申します。高台移転に関しまして  
579 は、詳しく承知しておりませんが、何 m 以上が移転基準というのは無いのではないかと思います。  
580 その辺を帰りましたら、担当に確認して新地町の情報提供をさせていただきたいと思います。  
581 よろしくお願いいたします。

582 【木幡 敏郎 副部会長】

583 新地とか進んでいる地域の取組って、なんかどんなふうになっているか、今わかるデータない  
584 ですか。

585 【西内 芳徳 委員】

586 用地買収、宅地をもう実売の 80%で買うとか。そっちの方が東電の課税評価の 1.43 倍よりも  
587 高いんでないかなと。個人的には得な方もう、どんどん進めたほうがいいんじゃないかな。

588 【福島復興局 鈴木 伸彦 参事官補佐】

589 賠償の金額に関しましては、具体的に今お話があったような、あくまで、固定資産評価額の 1.43  
590 倍というところでの話だと思うんですけれども。

591 【西内 芳徳 委員】

592 1.43 倍というのは、東電の賠償の数字ですよ。国で買い上げというのは実売の 80%だって、  
593 新聞報道で見てるんですが、そっちの方が得ですよ。それでやったほうが浜野地区の人たちも  
594 納得できるんでないかとそう思ってるんですよ。

595 【福島復興局 鈴木 伸彦 参事官補佐】

596 80%での買い取りは町が示した額で、新聞報道が先行する部分もございしますが、国からの正式  
597 な方針としてお示ししていることではございません。その辺に関しましても、具体的な賠償につ  
598 いては資源エネルギー庁で調整しており、1.43 倍以外の個別賠償については、明確なこれと言っ  
599 たお話を、今私からはできないということもございしますのでご了承いただきたいと思います。よ  
600 ろしくお願います。

601 【木幡 敏郎 副部会長】

602 そうすると進んでいないんですか、新地の方の。

603 【宗像 邦浩 委員】

604 新地町の、少しいいですか。

605 【木幡 敏郎 副部会長】

606 それに関して。



607 【宗像 邦浩 委員】

608 活用法ですか。

609 【木幡 敏郎 副部会長】

610 新地の方で土地の買い取り、買収というのかある程度この取組について、参考までに。

611 【福島復興局 鈴木 伸彦 参事官補佐】

612 新地の情報を持ち合わせておりませんので、申し訳ございません。

613 【木幡 敏郎 副部会長】

614 新聞では進んでいると報道されているが確かではないというところで、いいのかな、今のところは。ただ、そんな方向になるんですかね。

616 【福島復興局 鈴木 伸彦 参事官補佐】

617 東電の賠償がなかなか進まないところもございまして、その辺は皆様のご意見を持ち帰らせて  
618 いただいて検討中としか今のところお話ができません。申し訳ありません。ご納得いただける  
619 形ということで、賠償基準も柔軟に対応しているところでございます。

620 【木幡 敏郎 副部会長】

621 そんなところで区長よろしいでしょうかね。今のところはまだまだ原発以外の地域も進んでいな  
622 いと。

623 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

624 それが決まないと、前に進めないんですよ。東電も結局はさっきも言ったけど、コンクリ  
625 ートで囲っても正直 30 年も持たないんだから、25 年だからチェルノブイリ。あと 5 年間で囲わ  
626 ねばならないんだから、それらのことで、放射能を完全なら、完全というわけじゃないけれども、  
627 きちっと抑えられるようなそういう状態になんなければ、私も帰ることができないんじゃない  
628 かなという気がする。だって常に今だって出てるんだから、風向きによってはうちの浜野地区だ  
629 って  $5\mu\text{Sv}$  あるんですよ。現在のところこの前測ったところ  $3\mu\text{Sv}$  しかなかった、 $0.3\mu\text{Sv}$  しか、  
630 多い時だと  $7\mu\text{Sv}$  くらいあるんですから。これ風向きによって。双葉町自体が放射能に対しては、  
631 そういうふうな安定した状態じゃないんですよ。ですからやっぱり帰還すると言っても、みんな  
632 帰還したいのはそらわかるけれども、果たしてそれにマッチしたちゃんとライフラインから何  
633 から全部原発含めて、できるんだということなんですよ。ただ、まず原子力がどうのこうの、  
634 年寄りも多少放射能被っても死にやしねえから大丈夫だと。若い人帰ってこないと働くところもな  
635 い、どうにもなんないですね。そこからやっぱりやっていかないと、いけないんじゃないかなと。  
636 この前飯館村でもあったけど。村長宛で。関西の大手の、大手というか中小企業の少し大きい  
637 方ですね。その会社が来て飯館で建てると。国と県でなかなか土地がおりないかもしれないと言  
638 ったけど、おりたもんだから建てられるようになって工場をつくるみたいだけどもねだからそう  
639 いうふうにはやっぱりうちの方も一生懸命やって工場地とかそういう人が働くところがないから、  
640 率先して誘致していかないと、その目標があるならば、その目標に進んでいくしかないんじゃない  
641 ですか。

642 【木幡 敏郎 副部会長】

643 どういうところならば、特に浜野地区の皆さんは本当に大変、土地やお墓や家やという形があ  
644 るんじゃないかと、無いという状況からですから。かなり厳しい見方をするのは当然なんです、

645 帰りたいというふうな方々のことを考えて代弁をすれば、今言ったような安全に住めるところで  
646 ないとダメだということでは、他町村ではそういうふうなイメージでやってるかと思うんです  
647 ね。やっぱり双葉も同じような形かなと思うんですが。

648 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

649 だからどうなんだということですよ。我々は皆さんと違うんですよ。みんな周りの人たちは住  
650 宅があるんですよ。俺のところは住宅も何もないんだ。そこで帰りたいというのは、やっぱり早  
651 く町が帰還するよという時に、いち早く集合住宅でも何でもいいから、仮設はあくまでも仮設だ  
652 から、そうじゃなくってやはり恒久的な住宅をつくらせていただきたい。何もそれがいっぱいであ  
653 れば、市営住宅なり、県営住宅なりで貸せばいいわけだから、工場持ってくれば自然と人口は増  
654 えてくるから。住宅が不足するのは目に見えてるんですよ。全体建ってる東電の寮にしても、ど  
655 んな状態にしてもそれまでには耐用年数過ぎてるからもうダメです、使い物になんない。結局は  
656 そういうことをやることによって、前を見ながら進むとすればそれがいい方法かなと私は思うん  
657 ですけどね。

658 【木幡 敏郎 副部会長】

659 そうですね。渡辺委員はどうですか。この津波被災地の復興という意味での考え方については。

660 【渡辺 勇 委員】

661 浪江町なんかでも考えているとおり、浜通り全体が防波堤の嵩上げというのはやっぱり、完全  
662 に防ぐのではなくて、ある程度のラインまでをまず許容した上での嵩上げというのを考えて。例  
663 えば2m上げたから大丈夫だ、でなくて、その2mあるいは1mの嵩上げに対して9mの津波が  
664 きたら超えるのは仕方がないんですけれども、少しでも災害として被害を減らすという考えでの、  
665 1mの嵩上げ2mの嵩上げというふうな考え方で各町村考えているみたいなんですけれども。そ  
666 れでその道路での防波堤、第2線、第3線の防波堤の考えを道路で代替えするという考えは大変  
667 有効だと思います。実際、映像なんかでも良く見るとおり、名取あたりのあそこの有料道路で塞  
668 いだ水量の分ってかなりあるようなんで、あれを見るとやはり1本だけではなくて、やっぱり第  
669 2線、第3線の防波堤替わりのものもあつたらなというふうに個人的には考えていますけれども。

670 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

671 それとは別でできれば避難道路をつくらせていただきたい。それが大事。あくまでもつくんなき  
672 やなんないんですよ。「浜街道まで上がってきた時に困るから避難道路つくれ」と言ったけれど  
673 も、東電は「そういうことは想定しておりません」と。だから想定外なんですよ。

674 【渡辺 勇 委員】

675 ですから嵩上げた道路を結ぶような形で、避難道路ができれば一番良いわけなんです。国  
676 は今、もう1回津波のシミュレーションをやっている最中というふうには聞いてますけど。3.11  
677 の時には、潮位がマイナス0.6だったのかな。それで満潮がプラス0.6になるんで、それを基に  
678 もう1回、最悪の条件下での津波をもう一回想定して、シミュレーションをやるというふうと言  
679 ってますんで。実際それを基にもう一度津波浸水地域を想定すると3.11よりももっと深くなる  
680 可能性がありますんで。

681 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

682 その時10m以上の津波来るんだから、20mの津波がきたら完全にアウトなんだから、すぐ逃

683 げるように言っているにも関わらず、言うこと聞かなくて逃げなくて、16名死んだんだ。

684 【木幡 敏郎 副部長】

685 そういうふうな自らの避難訓練とか、防災の意識というのを、もとを高めていくということは  
686 大きなことですね。いろいろなところで聞きます。16mの津波があるから16mの堤防というの  
687 は、無理な話だってなことはね。ですから今言ったように20の嵩上げの道路とか、それから改  
688 めて津波を弱くする取組とか、そのようなことを踏まえてやっぱりやっていくのも同じかなど。  
689 これはやっぱり双葉町も、復興に当たっては浪江町と考え方は同じですよ。やっぱり農地の利  
690 用なんかもね。

691 【渡辺 勇 委員】

692 ですから大体、各市町村とも大体同様な考え方にならざるを得ないですよ。これは復興局の  
693 方の津波対策の補助金、交付金の考え方もあって大体、設定というのが同レベルで並んじやうと  
694 いうのは、これは当然だと思います。

695 【木幡 敏郎 副部長】

696 考え方はみんな同じですよ。

697 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

698 もしこのまま双葉町は成り立っていくんですか、人口がこの帰還になった場合には半分くらい  
699 しか戻らないとすると、結局双葉町として1個にまとめることはできないんですか。

700 【渡辺 勇 委員】

701 いろいろな話はそこも出てますけれども。

702 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

703 皆さんそれでもと頭、悩みあるで。

704 【木幡 敏郎 副部長】

705 これは組長はじめ議会がまた別な話ですけど、当然、町を存続していくということは、当然  
706 それも1つじゃないですか。

707 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

708 存続なんかできるわけない。それはそれでね。いつも頭の中に入れておいて話しないと、いざ  
709 やって見たら、人口が少なくて町が成り立っていかないとより、その前にやっぱり1歩進  
710 んだ考え方を持ってやらないと二重の金がかかると思うんですよ。国だってそんなに今度あれで  
711 すよ、次から次へとそうなったから、じゃあそうしますか、なんてことにはならないと思うんで  
712 すよ。その辺も踏まえてやっぱり県との兼ね合いとして残しておかないと私は大変じゃないかな  
713 としますね。

714 【木幡 敏郎 副部長】

715 両竹区長、浜野区長。例えば、ここにいるかどうかは別として、分類する移転とか嵩上げとか、  
716 資料4についてどのような考えですか。

717 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

718 私は賛成です。いいんじゃないですか。

719 【木幡 敏郎 副部長】

720 やっぱりこの中でやっぱり1番いいような。

721 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】  
722 一部路線変更して、やっぱり海岸から少しでも離れたところに道路を移すというね。そうすれ  
723 ば大分違うと思うんですよ。  
724 【木幡 敏郎 副部会長】  
725 少なくとも元のところというのは考えられない訳ですから、安心できる所でね。  
726 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】  
727 さっき言った通り、地盤が後ろの方だから、これが太平洋のプレートが下がった時にどうなの  
728 かが一番心配。  
729 【西内 芳徳 委員】  
730 それに関しては、今 GPS でもナビでも何でも、標高を測れるので1回見てみる価値はあると  
731 思うんですよ。沿岸部みんな、70cm90cm 下がったというのを私聞いているんですけど、やっ  
732 ぱり数字でみる価値は。  
733 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】  
734 数字では表れないですよ。ただ見ると、地図なんか見ると大して変わらねえんだよな。  
735 【西内 芳徳 委員】  
736 なんか郡山海岸の砂浜全部なくなってるよ。  
737 【宗像 邦浩 委員】  
738 砂浜はないです。この間請戸も見てきたんですけど、市場の脇は波かぶってました。やっぱ  
739 り1m位は下がっていると思います。あと、沖の防波堤もやっぱり低くなっているような気がす  
740 る。あと突出しの部分も段差も見てもやっぱり1m近くは下がっていると思いますね。  
741 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】  
742 また下がってきてんだ。  
743 【西内 芳徳 委員】  
744 下がって安心なんだよ。  
745 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】  
746 落ち着けば安心なんですよ。  
747 【西内 芳徳 委員】  
748 あともう1つ、嵩上げの話今出ましたけど、うちを参考にすれば多分震災は、うち、標高14m  
749 位あったんですよ。その100m手前直前まで波が来たんで。やはり高台移住の1つの基準とい  
750 か最低15m以上とか目安は出てくるかなと思います。放射能抜きの話ですけども。  
751 【木幡 敏郎 副部会長】  
752 とにかく今後考えられる津波を踏まえては、安心できる高さということだと思いますよね。  
753 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】  
754 完全に止めることはないから。まず、大きい地震とか津波が来たら、震度6強から7来たら  
755 まず逃げろということなんです。津波が来ても来なくても。そういうふうな徹底をさせておけば  
756 人間死ぬことはないと思うけどね。  
757 【木幡 敏郎 副部会長】  
758 あと先程言ったような、当然河口（かこう）、河口（かわぐち）というところありますから、

759           それはやっぱりきちっとした取り組みをしなくちゃなんない。嵩上げも踏まえてね。河川改修は  
760           当然ですよ。

761   【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

762           私あっちこっち、たまに行ってる時、この間日本海にあって地震と津波体験を講演してきまし  
763           た。

764   【木幡 敏郎 副部長】

765           お墓については浪江との関連があるということなんだけど、このお墓については共同墓地なん  
766           ていうのは、国あたりでは何か動きはあるのかな。取り組まれる事業なんかはあるのかな。

767   【渡辺 勇 委員】

768           今のところはっきりはしてないんですけど、ただそれさっき言った移転の問題もあって、み  
769           んな側に置きたいと思うんですよ。離れた隣町とか、町境に置いたんでは困ると言う人が多いし、  
770           移転で大体どのグループがどの辺に行くかということも今後絡んでくる可能性もあるので。あと  
771           今、共同墓地は、法人がつくるか町がつくるかどっちかなんですよ。ただ、町で分譲という形  
772           になった場合には、今あるような例えば地区とか大字とかお寺単位というふうにしてつくるのは  
773           難しくなるんで。公園として、墓地公園という形を取らざるを得なくなる可能性も出てくるわけ  
774           ですよ。

775   【木幡 敏郎 副部長】

776           それは町がやると。土地はあるわけですよ。

777   【渡辺 勇 委員】

778           だからそれも今後、わからない訳なんですよ。

779   【木幡 敏郎 副部長】

780           町が造成して販売する。

781   【渡辺 勇 委員】

782           安全な場所とって山の方に寄っていくと今度は線量が高い訳ですよ。だからある程度さっき  
783           の話、区長の話だけど、ある程度津波来るのを覚悟して置くかって問題も出てきちゃうし。

784   【木幡 敏郎 副部長】

785           いやそれはなるべくならないような形にしないと。

786   【渡辺 勇 委員】

787           それも厳しいですよ。

788   【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

789           だから住宅が決まらないと、その場所が決まらないと、墓も何も決まらないんですよ。

790   【木幡 敏郎 副部長】

791           今はですね。だいたい安全な所というようなところでしか、1つの案としては、今参考までに  
792           ね。

793   【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

794           高台でしかね。

795   【木幡 敏郎 副部長】

796           わかりました。

797 【武内 裕美 委員】

798 ある程度やっぱり土地を区分して国有化に、安全緑地的なものに国有化にすべきものと、やは  
799 り町民全体で共有化する地域を分けて防災場と住居と区分していくような方法しかないんでな  
800 いかなのと思うんですよね。

801 【渡辺 勇 委員】

802 ある程度分けて、防災エリアと居住エリアと分けてね。

803 【武内 裕美 委員】

804 その中に雇用とかを考えていくと。楽観的に二重にするにしてもその辺のエリア分けは必要に  
805 なってくるんじゃないかなと思いますよね。

806 【木幡 敏郎 副部長】

807 その通り。1つのイメージとしては。最後に何か言い足りなかったことありましたら。

808 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

809 これは前に進むというの、前に進む言葉はあるけれども、それ以外のものは何も無いんです。  
810 正直言って進めることができないんです。案は出したとしても、進めますか。何1つ決まってい  
811 ないから。まず、1つ1つ決めた時点においてこれらは異なるものを検討するべきだと思う。こ  
812 れはできるんだけど迷いなくできるから、この問題についてどうしよう、それに付随したも  
813 のにどうしようか、これをやるのが会議だと思う。今はそういうふうなことで、迷っている。

814 【木幡 敏郎 副部長】

815 区長は今回オブザーバーでありますけれども、この復興委員会というのは、とにかく双葉町は  
816 現在ご存じのように、まだ、先だつての復興委員会で、木村先生の講演の話は多分広報なんかで  
817 「150年から200年は厳しい」と言っているかと思うんです。確かにこのような状況だと思いま  
818 す。しかし、だからダメだということではなくて、今の何年後にどうなんだということを踏まえ  
819 て、帰るのならば双葉町はどんな町にしたらいいのかなと。当然そこにあるのは、強制ではあり  
820 ません。帰れる人帰る人とこれは当然自由がなくてはならないということですから。そういうこ  
821 とで、帰るという場合にはこんな町ならいいな、というふうな1つの、今は計画です。本日は津  
822 波被災地域の復旧ということについてのテーマでした。特に区長方は大変厳しい中に、おられる  
823 わけですから、その気持ちは私らもひしひしと感じますが、津波にはやられなくても、いろい  
824 ろな面でやっぱり苦勞しておられる町民の方も同じですから、帰る、帰らない、それから希望をも  
825 って、お墓があり先祖があったという所に帰れるならば、こんなふうな所だというふうなことで、  
826 これからも取り組んでいかなければというふうに思っております。

827 【オブザーバー 齊藤 六郎 両竹区長】

828 最後に悩み聞いて。両竹地区は津波にあつて、このままでいったらそれこそ、さっきの話でな  
829 いけれど、土台とかなんかも腐っちゃってダメになっちゃうという話出たでしょ。そういう話を  
830 聞きますと、家持っている為にまた、今苦勞しているんですよ。住民の人たち、そうなんです。  
831 家に帰って一時帰宅しても、掃除なんかできる状態じゃないですから、1時間2時間でできるも  
832 んじゃないですからね。それこそ1ヵ月くらい、家の中片付けるのにかかると思うんで、そうし  
833 ますとこれ、私もジレンマ。これ、結局5年間帰れなかったら、もう家は住めない状態というふ  
834 うに考えていいのかな、もう。そういうことで、どうしたらいいもんかと思って、結局、私個人

835 の問題じゃなくて、結局両竹の人たちそれぞれ、津波、床上、床下、それぞれ違う状態で被害受  
836 けているわけですね。それでこれ、早く帰してもらいたいという考えと、早く帰れるようにし  
837 てもらって、家の掃除をしてきたいという、そんな考えの反面はやっぱり町の5年間帰れないん  
838 だという、そういう考えがあって、困ったもんだなというジレンマでいるんですけれども。

839 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

840 この前の説明会で5年経つと全損だと。ところが浪江町と双葉町を除くみんながなっているん  
841 です、3町がね。なんで双葉はそれやんねんだと、5年なら5年ダメだとなれば、諦めもつくと  
842 いうことですよ。要するに家に帰ってそこに住むという望みが今いくらあるわけですね。そ  
843 れが結局無いとなれば、そんだけ考え方も変わってきますよね。もう帰れないと5年は。そした  
844 らもうどこかに家を建てるか、どこに住むかという2つ方法選べるわけですね。それについて  
845 精神的な面もやっぱり帰ると、私は5年なら5年、正直帰れないなら帰れないでいいと。その時  
846 経って、あと20年帰れませんよ、というふうになればいいわけだから。やっていただけるとあ  
847 りがたいね。

848 【武内 裕美 委員】

849 その辺はまだ、国との協議の中で進んでいるんで。近いうちに区長にその辺をお示しできるよ  
850 うな状況になると思います。今詰めているところです。

851 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

852 今この場で言うのは厳しいかもしれないけど、10年なるか20年なるかわかんないから。

853 【渡辺 勇 委員】

854 とりあえず5年を目指してという形になるんでしょうね。

855 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

856 私はそれでもいいと思う。

857 【渡辺 勇 委員】

858 5年経って帰れるかというのは5年経って考えなくてはいけないんで。

859 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

860 そんな時になって考えればいいことなんだよ。

861 【木幡 敏郎 副部会長】

862 今、実際決まった所でも、帰れない所と、避難解除準備区域は泊まれないけれど、帰ってるん  
863 だよ。でも、補償の問題は別だということですよ。今のところは。

864 【西内 芳徳 委員】

865 もう南相馬は、今年8月に泊まっていますよね。

866 【木幡 敏郎 副部会長】

867 行ったり来たりはしてんだけど、屋根の修理だの庭の手入れなんてみんなやってるんです。

868 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

869 宿泊できないんだよね。

870 【木幡 敏郎 副部会長】

871 泊まれないという状況です。ただそれによって補償金はまた別。もらえないですから。なら、  
872 そういうふうなのをのんだ地域、町はありますということ。双葉町は今のところ、1本化ってこ

873 とでしょ。双葉町全域を。

874 【武内 裕美 委員】

875 あくまでも、賠償の為の区域見直しじゃなくて、今後の復興の為の区域見直しということですから、それに賠償がついてくるという考え方です。

877 【オブザーバー 菅本 洋 浜野区長】

878 人口も半分返ってきたって4,000人でしょ。なんぼ帰ってくる。その半分でしょ。

879 【木幡 敏郎 副部会長】

880 バラバラでインフラできますかということでもありますので。

881

882 (2) その他

883

884 3. その他

885

886 4. 閉 会

887 【木幡 敏郎 副部会長】

888 時間ですので、別の会に移りますので、どうもありがとうございました。

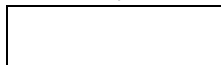
889



## 第2回ふるさと再建部会座席表

(敬称略)

木  
幡  
敏  
郎



1 日時 平成24年11月26日(月)

13:00~14:45

2 場所 双葉町埼玉支所 4階 4-B

宗像 邦浩

菅本 洋

齊藤 六郎

(関係者)

西内 芳徳

武内 裕美

渡辺 勇

大橋 利一

平岩

事務局  
相楽

中陳

事務局